

令和5年度 学校評価総括（計画）表【I】 香芝市立旭ヶ丘小学校

教育目標		判断力・表現力・想像力を身に付け、命を大切にすることの育成	
運営方針		明日も行きたくなる「笑学校」	
目指す子供像		目指す学校像	目指す教職員像
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく進んであいさつする子 ・人を思いやり、共によりよく生きていこうとする子 ・よく考え、進んで学び ・進んで体をきたえる子 		<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶のあふれる学校 ・明るく楽しい学校 ・人を大切にする学校 ・規律、礼儀の正しい学校 ・地域と共に歩む学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で接し児童と共に歩む教職員 ・分かる授業を創造する教職員 ・児童、保護者、地域から信頼される教職員 ・日々、学び続ける教職員
学校経営	評価の観点	平均値 4段階	課題と改善点
教育の目標・指導の重点	1. 学校教育目標や指導の重点に基づいて、前年度の課題を踏まえ、自身の教育活動を展開している。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き人員が足りていない。 ・学力テストやアンケートなど、分析したものを児童にフィードバックできるようにしたい。 ・前年度の課題が何かを年度末に反省をしきれていないように思う。時間が無いとは思いますが、もう少し各部での反省を全体で振り返る時間をとっていくことが必要だと思う。 ☆学力テストの分析をもとに授業計画を立てる。 ☆総括会議までの部会の時間を確保する。総括会議でその年の反省を十分し、次年度の計画を立てていく。
	2. 学校教育目標が教職員に共有され、教育活動を進める上で生かされている。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職から教職員への共有が不十分であるため生かしている部分が少ない。もっと対話をしてビジョンを下ろしていく必要があり、学校教育目標を達成するために教職員の声を聴いてもらいたい。 ・「命を大切に」と言っている割には軽んじている計画が感じられる。 警報発令に伴う休校時にミーティングで朝の会をすることや、学級閉鎖時のミーティングの授業を行うことについて考えてほしい。また、雨の日下校について、ゲリラ豪雨が起きそうな雲行きの時、下校を早めるなど子供の命を守る行動が必要に感じる。 ・しっかり話し合い決定していくべき。特に管理職の先生方から思いを伺いたい。 ・管理職はもっと学校運営・組織運営のビジョンを明確にした上で、具体的にどのようにして実現していくのかについてリーダーシップを発揮してほしい。 ・学校目標に対して、各学年での取り組みを共有してみてもよいのではないかと感じます。また、年度始めだけでなく学期ごとにも振り返ることも必要だと思います。 ・なかなか認識できないので、すぐ目に付くところに掲示するなどして頂けるとたすかります。 ☆管理職と教職員との対話を増やして共有していく。 ☆警報発令時のミーティングの朝の会、学級閉鎖中のオンライン授業についてはその時の状況を見て行うか判断する。 ☆急な豪雨の場合、レーダーを見ながら下校時刻を変更するかなどの判断を今後していく。 ☆学校目標を学期ごとに振り返る。
	3. 学校教育目標が、保護者や地域住民等に発信され、理解されている。	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に発信されたことが実行に移せていないところがある。 ・メールなどでの配信を一層促進する ・学校だより等に、関連する記事を載せる。 ・学校だよりなど文書では周知されているが、なかなか保護者に浸透していないように感じる。 ☆ミマモルメを活用を更に進めていく。
組織運営校務	4. 校務分掌は、適材適所に配置されている。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・これだけの欠員状態で、図工などの専科はいらないと思う。音楽、家庭科、外国語の優先順位で専科がほしい。 ・主な主任などは、勤務年数を考えて引き継いでいけるようにしてほしい。（司書教諭など） ・人員不足のため、重い業務や複数の業務をこなしている教職員が多い。 ・転勤などを見越して人事を組むべきかと思う。勤務年数等を照らし合わせて、その都度の確認や、主任になる人の意見を反映させていくべきかと思う。 ・企画会議を廃止してはどうですか？特定の先生だけが大変な思いをしているように感じます。企画会議があっても、他の先生の意見が反映しづらくなる。企画会議があった割には、職員会議の時間が長い。 ・以前提出された休憩計画は通常無理です。休憩時間を確保できる環境を整えることはできないだろうか。 ・校務分掌が分散されてきて、一部の先生に負担が偏ることは大分減ってきたように感じるが、これからは仕事内容の見直しは続けていかないといけないと思う。 ・一人の人に重ならないようにする。重要ポストにおいては、3・4年をワンクールにして考え、補佐をつけることで、転勤されても、補えるようにしておく。 ・教職員の人数が多いので大丈夫だとおもうのですが、同じ人に仕事が重ならないようにしていただけたらいいかと思えます。 ☆来年度は出張があるものを全体で分けて決めていく。学力向上部から市の振興会を外して担当を決めていく。 ☆主任などの担当は勤務年数を考えて引継ぎをしていけるように担当を決めていく。 ☆終礼の時間が短縮できる工夫をする。 ☆企画会議は今後必要。企画会議の前に学年や部会で計画をまとめておく。
	5. 学年・学級の相互の連絡が円滑で学校全体として機能している。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・他学年の情報が入らない。 ☆会議や終礼の時に情報共有できる時間を設定する。
	6. 教育活動を効果的に行うための教材・教具の整備・管理・活用はよくできている。	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しすぎてそこまで手が回らない。 ・以前より購入できる方法や機会を作っていただけている。しかし、忙しすぎて購入すべきものを忘れてしまっていたり、届いても使いたかった年度ではないこともありかせていないと思う。 ・忙しい毎日ではあるが、学期に一回でも教材・教具の点検のための学年会を設定してはどうか。 ・修理が必要なものもある。体育館倉庫やサブ体育館倉庫など、少しずつ整ってきている。もとの場所に片付けることを徹底したい。 ・特に体育倉庫の使用が大変雑である。児童任せではなく、教職員も目視点検を行うべきである。 ・教具が古かったり、何があるか分かりにくかったりするなど、備品台帳もきちんと整理されていないように感じる。 ・多目的室倉庫、図工準備室など職員作業で片付けをしたい。どこに何があるのかリストがあれば便利。（新しく赴任した者も分かるように） ☆夏休みと春休みの職員作業で多目的倉庫と図工準備室の片づけをする。

	7. 予算の編成・執行の方法や手続きなどは適正、効率的に行われている。	3.2	・時間的ゆとりがない。 ・コロナ禍が終わり、ボランティア、講師等、外部からの人材を呼ぶことも考えられる。そのため予算編成をするのか、各学年に委ねるのか年度前か年度明けすぐに周知して欲しい。 ・遠足の下見も仕事のうちなのに、入園料や駐車場料金をなぜ教員が自腹を切らなくてはいけないのか？無駄な出張・研修を削減して、確実に必要なお金に当ててほしいです。 ・必要に応じて柔軟に購入していただけてありがたい。しかし、教材庫を見ると使用されていないものも多く見かけるので、購入する前にしっかり検討する必要がある。 ・前年度、どんなことに予算を使ったのかを、また、どんなものがあつたら便利であつたかを引き継げるよう、パソコン上に記載するよう心がける。 ☆前年度の会計報告を誰でも確認できるようにしておく。
学校評価	8. 自己評価を踏まえて改善しようとしている。	3.4	・過去の指導方法を見つめながら日々行っているが、不十分な点はある。
	9. 学校評価の結果を踏まえて改善がされている。	2.8	・人員が確保されない限り、改善できないことが多い。 ・過去の引継ぎを確認しながら行っているが、不十分な点はある。 ・あまり変わっているようには感じられない。改めるべきことがあるのであれば、しっかり話し合い、方針を決める。その後も定期的にチェック、声掛けを続ける。 ☆評価を受けて特に平均点の低い項目についての改善点は職員全体で話し合っていていく。
教育課程	10. 学校や地域の実態及び児童の特性を踏まえ、主体的に活動できるような教育課程を編成している。	3.0	・人員が足りていないため、主体的に検討する余裕がない。 ・少しずつ学校外の活動を入れたり、地域の方を講師として呼びたりはできたかと思う。 ・計画委員会主催の集会のように、全校が体育館に集い行う行事を増やしていきたい。委員会活動により主体性が生まれたり、他学年の児童を知るきっかけにもなると考える。 ・学校や地域の実態の把握 ☆計画委員会主催の集会の機会を増やしていく。
	11. 年間授業時数の確保と週時程の運営ができています。	3.5	・年間授業時数を確保できているので、余剰部分は負担軽減に回してほしい。 ・十分に時間を確保していると思う。子どもも教師も働きやすいような時間の計画を立ててみてはどうか。無理をしてきたことが余裕を生まず、窮屈にしていると思う。 余裕ができることで、授業や行事の充実を図ることができるのではないかと。 ・授業時数は、十分すぎるほど足りていると思います。クラブ・委員会のない月曜日6時間目は授業をせず下校させる。 ・朝のモジュールについて、低学年も8：40から国語など授業をしていることが多いが、なぜ授業時数に反映されないのでしょうか？また、朝読タイムは国語として時数カウントはできないのでしょうか？全前任校ではカウントしていました。 ・就学前検診についても学校で行うべきことかなのかどうかについても説明するべきである。 ・個人懇談の期間中に6時間目まで授業するのは検討しなおしていただきたい。 ☆会議や研修のある日の校時については部団下校時の校時にして、少しでも早く始められるようにする。 ☆個人懇談の期間中に6時間目まで授業することについて、来年度は創立記念日を登校日にすることで調整。2学期の懇談は希望懇談。 ☆読書タイムを国語として時数カウントはできない。
地域連携	12. 学校と地域社会との連携がよくできている。	3.2	・コロナ明けで、地域との交流が増えてきたと思う。もっと積極的に地域の力を活用するべきである。
	13. 関係諸機関との連携がよくできている。	3.0	・忙しすぎてそこまで検討する余裕がない。 ・これだけ教員不足なのに、人が来ないなんて・・・。教育委員会は、もっと現場の声に耳を傾けてほしい。 ☆職員の思いは校長を通して市教委に伝えている。
	14. PTAとの連携がよくできている。	3.2	・行事、コミュニティ会議等でできていると思う ・学級懇談に参加する人が少ない。学級委員さんはいない？機能していない？ ☆学級委員さんはいない。懇談の内容を検討し直して、参加が増えるように工夫する。
	15. 地域の人材・施設・環境等を十分活用した学習ができています。	3.0	・人員不足からくる余裕のなさが起因し、十分な検討をする時間的余裕が少ない。 ・今のところでは充分かと思う。世情など状況を見ているところだと思うので。 ・今年度、学年園を耕運機で耕していただけてすごく助かった。 ・コロナ明けで少しずつ、地域との交流が増えているので。一層促進するべき。 ・地域の人材・施設・環境の把握 ・地域の方や保護者にボランティアをお願いする機会があつたが良かったと思う。 ・家庭科や図工などで特にボランティアを活用できていたと思う。 ・学習ボランティアの募集等をしていただき大変ありがたい。 ☆来年度も家庭科や図工、生活科などでボランティアを募っていく。 ☆卒業式の式場に飾る菜の花をコミュニティーで育てていただいた。今後も園芸活動にも協力を得る。
危機管理	16. 公文書や個人情報の管理・保護を適切に行っている。	3.4	☆適切に行っている
	17. 危機管理に対し、教職員全員が共通理解している。	3.2	・不審者への対応、訓練 ☆必要性を感じているが、児童の心理的負担を考えて実施するか慎重に検討。
	18. 校舎・施設の安全点検がよく行われている。	3.0	・教頭先生や朝早く出勤する教職員は発見しやすいが、全員で意識を高める必要がある。人員不足からくる余裕のなさと後回しになっているところがあると思う。 ・安全点検は行われているが改修が必要な設備が見られる。 ・一般教員の仕事以上のものがあるように感じる。校舎・施設について、市からの積極的な見回りや管理業務、修繕などをしてほしい。 ・少しずつ学校も老朽化しているように思う。各箇所の安全点検ができていのかどうかを教職員全体が意識する。 ・遊具の点検を職員作業に入れてはどうか。 ☆遊具の安全点検について、今年度は体育部を中心に行つたが、来年度は全職員で行う ☆市教委から遊具の点検に来てもらっている。修理箇所についても見に来てもらっている。

令和5年度 学校評価総括(計画)表【II】 香芝市立旭ヶ丘小学校

教育活動	評価の観点	平均値 4段階	課題と改善点
	19. 指導要領に基づき、学校教育目標等を踏まえ、各教科等の年間指導計画を活用している。	3.4	・年度末に年間指導計画を見直す機会が必要かもしれない。また、教科書が新しくなるので、新年度早急に作成し直す必要がある。 ☆年間指導計画の作成を新年度早急に行う。
	20. 各教科の指導内容について、基礎・基本を明確にし、教科の精選・工夫を計画的に行っている。	3.5	・学校に置いている教材教具の見直し。(使えるものと使えないものとの見直し) ☆使えなくなったものは、その都度事務に報告して廃棄する。

学習指導	2 1. 教材研究を通して指導法や学習形態の工夫をし、児童が集中して取り組む授業を行っている。	3. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の授業を見学し、さらに良い授業ができるよう高めていきたい。研究主任がよく計画を立ててくださり感謝している。 ・前年度で工夫された授業を本年度も活用しやすいものにする仕組み ・教材研究をゆつくり学年などで取り組む余裕はなかった。また、空きコマの少ない中での授業準備をしっかりと行うには経験があっても厳しいのだから、教員経験の浅い先生にとっては本当に大変なことだと思う。しかし、授業はすべての基本であり授業で児童を変えていくのであればおさなりにはできない。研修体制だけでなく時間的余裕が必要である。 ・教材研究の時間の確保ができない。 ・学年で教材資料等が引き継がれるとありがたい。 <p>☆来年度教科書も新しくなるので、使った教材が次年度も使えるように引き継いでいく。</p>
	2 2. 体験活動を多く取り入れるなど、児童がより主体的に学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	2. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの研修を受けられるような態勢が組めるよう検討が必要である。 ・コロナで難しかった部分はあったので、これからは増やしていくべき。 ・体験活動をすることで、より主体的に学べる単元の把握と地域の人材・環境の把握 <p>☆学習活動の中に体験的活動もどんどん取り入れていく。</p>
	2 3. 各教科の評価規準を設定、共通理解し、学習を進めている。	3. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足のため余裕が少ない。
	2 4. 授業における児童の学習状況を適切に評価し、指導に生かしている。	3. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・適材適所のタブレットの活用 <p>☆テストやノートの評価以外にもタブレットを活用した評価も今後どんどん取り入れいく。</p>
	2 5. パソコンやデジカメ、視聴覚機器などを利用して、効果的に学習を進めている。	3. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの活用方法を学ぶ。 ・学年の先生に助けていただいている。感謝しかない。 ・使える先生は多いが、苦手な先生方へのフォローは必要である。 <p>☆タブレットの使い方にも堪能な職員が多く、活用法を学年間に広めていく。また得意な教職員による研修の機会も設定していく。</p>
学習意欲	2 6. 全職員で児童の学習の実態を分析し、児童の学習課題を明確にして取り組んでいる。	3. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・今のゆとりのなさで、分析ばかりに時間をかけていられない。一人ひとりの教員が問題意識を持って授業に取り組めばいいと思う。授業やテストの結果から、反省点は授業者本人が一番肌で感じると思う。 <p>☆各クラスの分析だけにとどまらず、学校として足りていない学力を分析し補っていく必要がある。</p>
	2 7. 各教科等において学習意欲向上のための具体的な取組を行っている。	3. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的活動、外部の実践の良い面を取り入れるようにしている。 ・デジタル教科書の活用の工夫 <p>☆体験的活動がコロナ以前に戻ってきた。さらに活動を増やしていく。</p>
	2 8. 家庭での学習習慣の定着に向けた具体的な取組ができている。	2. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着が怪しいな。と思った児童の保護者には、こまめに連絡をとり、協力していただくことで、学力が上がり、学習意欲も高まった児童が何人もいた。担任と保護者が手を組むと、児童はやるしかないという気持ちになる。 <p>☆今後も保護者と連携をとりながら協力してもらう。宿題の出し方にも工夫が必要。</p>
生 徒	2 9. 児童の実態について共通理解し、教職員が連携して、組織的・継続的に指導する体制が整っている。	3. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の児童引き継ぎ会議での時間の短縮してほしい。顔も知らない全員のことを言われても、顔と名前が一致しないときに言われても頭に入らないので、要点を絞った引き継ぎの方がいいと思う。 ・教職員間での指導の温度差は感じる。遊び方、過ごし方のルールなど、同じことで注意される児童がとても多い。各教職員が毅然と指導していく必要がある。 ・問題の質や深さによっては、当該学年は余裕がないのではないかと思いますので、連携をコーディネートしたり、積極的に全体をマネジメントするリーダーがほしいと思う。 ・不登校の児童において、教職員の連携が難しい。そのための指導体制を整える。 ・みんな自分のことに精一杯。 <p>☆引継ぎ会議は2日間で行う。必要最小限の伝達にとどめる。</p> <p>☆当該学年で対応できない問題はケース会議を開き、管理職を中心に全職員で対応していく。</p>
	3 0. 生活指導を通して児童が学校のルールを守っている。	2. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・何度声掛けを行うも、外遊びなどのルールが徹底されてはいない。ルールが多すぎるのも覚えにくい原因かもしれない。各教室だけではなく、いつでも絵と文で確認できる掲示物を張り出してはどうか。 ・学校だけでなく、家庭での躾や教育の重要性を伝える。 ・各教職員の指導の温度差は過大である。組織として、どうするかということをもっと真剣に改善する方策を考えないと行けない。廊下歩行など毎年のことである。 ・学校のルールをみんなが守るように、児童が取り組む。 ・各職員がルールが守れていない児童に対して注意をしていく必要がある。 <p>☆職員が一丸となってルールを守らせる意識を持たなければならない。</p> <p>☆しつけの部分は家庭にも協力をお願いする。</p>
	3 1. あいさつの指導がなされ、児童のあいさつが習慣化している。	2. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が率先して挨拶するに限る。 ・クラスの児童は、自分の担任や、学年の教師には挨拶しているが、他の教師には挨拶できていない。挨拶が当たり前の学校にしていくには特別な場面以外にも挨拶が当たり前になるような指導がいるのではないと思う。また、教師も色んな場面で挨拶をしている姿を見せていく必要がある。 ・雨の日も計画委員会の子たちがあいさつ運動を頑張っていることに感心します。しかし、傘を指して登校してくる児童が多いので、場所の確保のため、雨天時は無理なくしていかなさと思います。 ・教師も挨拶をしない場面があるため、教師からそのような雰囲気づくりをしていく。 ・教職員自身も身近な大人として、丁寧な挨拶を心がける。 ・教室内や訪問者へのあいさつが自然にできるようになるところまで、レベルアップしたいものです。また、「ありがとう」や「ごめんね」といった言葉にも注目させたいです。 ・計画委員が、中心に動いていることで、「あいさつ」が習慣化されている。これを高めるには、さらなる改善策が必要。 ・教職員間のあいさつ（返事や感謝やおはよう・お疲れ様など）も、児童の模範になるようなものであるかを意識すべきである。（児童の有無には関わらず） ・朝の立哨に立ってくださっている保護者が「最近みんな全然あいさつをしない」と懇談で嘆いておられた。 ・地域の方や学校に来られたお客様への挨拶が課題である。 <p>☆教職員が見本となる挨拶をしていく。</p>

他指導	32. 児童が校舎内を走らないで過ごしている。	1.6	<ul style="list-style-type: none"> ・教室を普段使っていないところや、教室から確認しにくい場所がたまり場になったり、遊び場になっている。全ての場所に目を光らせることは難しいが、教室配置の工夫や、巡回（教師なのか、支援員さんなのか、委員会活動の児童なのか、管理職か）も必要かと思う。走る姿を見つめるたびに注意したり、指導しているが改善はしていない。 ・全教職員で、積極的に声掛けが必要に感じる。 ・見回りや、放送を繰り返しても無くなることはない、頭の痛い課題である。 ・時計の横にある「X」や「→」の掲示があるが、児童の目にははいていないことがある。廊下や階段などになにか示すことができたらいいと思う。 ・組織として動く。各教職員の指導だけでは限界である。 ・雨天時での遊びについて考える。校舎内での鬼ごっこが原因。 ・すべての職員で声掛けを継続していかなくてはいけない。 ・運動場にでられない日の過ごし方を再度検討する必要がある。 ・廊下の真ん中であえて割れやすい花瓶などを置いている学校があると聞いた。 ・休み時間の見回りの強化が必要かも。廊下歩行指導強化週間など作ってはどうか。 <p>☆週番の見回りの強化。 ☆当たり前のことだが、全職員が注意をする。 ☆保健委員会のパトロールを来年度も継続</p>
	33. 教育相談における校内体制が整備されている。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から教育相談があったときに、どのような窓口でだれがつかぬかなど共通理解があまりなされていないように感じる。 <p>☆養護教諭を通じてカウンセリングを進める。 ☆特別支援コーディネーターに相談する。</p>
	34. いじめに関して実態を把握し、教職員が共通理解の下、いじめの防止・指導に取り組んでいる。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、各自の学年の児童を見るだけではなく、終礼での全体へ報告することも行っている。年2回のアンケートは、ただの集計にとどまらず、事実の確認や指導、その後の追跡を徹底している。また、各学年からの集約を行い、各学年に仔細をおろしている。このことから充分に教師はいじめ防止と抑止に取り組んでいると考えられる。 ・学年、学級だけで抱え込むことなく、全体でのサポート、情報の共有を欠かさない。 ・各先生方は真剣に取り組んでくださっているが、似たようなアンケートが多すぎる。一本化してほしい。働き方改革にも反する。
	35. 規範意識を高めるため保護者や地域住民、関係機関等と連携して取り組んでいる。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみやコンパスの針で授業中に遊んでいる子がいるクラスがある時点で、もっと関係機関に相談し、早めに手を打つ必要があるように思います。 ・規範意識をさらに高めることは、なかなか難しい。学校日より等で呼びかけていく。 <p>☆保護者や地域住民にも協力してもらおう。</p>
	36. 避難訓練や安全意識高揚のための取組を進めている。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯訓練は児童がいるときにも行っている。 ・東日本大震災の等の映像を流す。（高学年限定）絵本等の活用。 <p>☆防犯訓練は児童の心理的負担にならないように、実施するか慎重に検討。</p>
	37. 児童が掃除の仕方を身につけ、進んで掃除をしている。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・真剣に掃除している児童は多いが、おしゃべりも多い。 ・無言で掃除する週を今年度同様作る。 <p>☆無言清掃週間の継続 ☆児童と一緒に教職員も掃除をする。</p>
38. 児童自身が生活環境をよくしていこうとする態度を育てている。	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように努めてはいるが、なかなか難しい。 <p>☆教職員が見本になる態度をとる。</p>	
道徳教育	39. 道徳教育の年間指導計画は、児童や地域の実態を考慮している。	3.1	☆指導書の通りに進めているので、地域の実態に考慮していない。
	40. 道徳科の年間指導計画に基づいて、指導のあり方や実践を進めている。	3.0	☆道徳の時間で考えたことを普段の生活で活かせる指導が必要。
	41. 道徳科の時間を大切に、年間の授業時数が確保できている。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、時間割通りに教科書を進めていくと、余裕を持って終わることができそう。 ・人権作文の時間を取り入れるのが大変。 <p>☆週1時間のため、休日での補充が難しいが年間35時間を大切にす。</p>
特別活動	42. 特別活動を通して、児童が自主的・主体的に活動する態度を育てる指導ができています。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会では自主的に活動している様子がよく見かけられている。 <p>☆今年度、コロナが明けて集会活動を再開できた。今後も計画委員会主催の集会活動を実施していく。</p>
	43. 自然体験や社会体験等の体験活動を計画し、実施している。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとあつていいと思うが、学校行事や時数などの関係でなかなか難しい。 <p>☆クラス数が多く特別支援学級との時間の調整も難しく、増やしていくのは難しい</p>
	44. 委員会活動やクラブ活動では、適切な時間を確保し、児童の自主的な活動が行われている。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会・クラブの主になる先生は、すべて高学年である必要はないのでは？前の週に、委員会担当全員で、活動内容を話し合ったりして、分担したらいいと思う。 ・委員会活動では一部の教員に負担が集中しているところがある。その委員会の教員全体で負担を分かち合う必要がある。 ・委員会の回数を年間1～2回削減してはどうか。 <p>☆委員会によっては仕事がたくさんある。来年度の回数は現状のまま。</p>
人権教育	45. 児童や地域の実態を踏まえて、人権教育推進計画を作成して、活用している。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年感じるが、人権部長の負担を軽減できないか。 <p>☆学校の実態にあった人権教育推進計画の作成 ☆人権部の総括をもとに次年度の計画を作成する。</p>
	46. 年間指導計画に基づき、重点教材を使った指導が行われている。	3.0	☆活用する教材を、学校としてもっておく。
	47. 人権尊重に関わる様々な課題を共通理解し、指導方法について、全教職員で話し合っている。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・市人権の報告、毎年大変に感じます。市と協議してなくすことはできないか。この準備で時間をとられるのなら、授業準備等に力を注ぎたい。また、この研修会がなくなれば、授業時数は増えます。夏季の人権研修は、校内だけで十分に感じます。 ・研修などはあるが、学んだことを組織としてどう向き合っていくかという意思統一の場はあまりなく、不十分に感じる。 <p>☆学年によって課題が異なるので、学年で指導方法をしっかり考える。研修の場を学校全体の意思統一の場にしていく。</p>
	48. 暮らしの中にあるさまざまな差別について、正しい見方・考え方を育てることができている。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・「死ね」などの相手の心を傷つけることをいう児童はまだ見られる。言った児童、言われた児童どちらにもカウンセラーなどの専門家の意見も聞きながら、ケアに努めていく必要がある。 <p>☆各学年の実態に合わせて、様々な差別について学習する内容をしっかりと決める。</p>
特別支	49. 職員が特別支援教育について十分に理解している。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態が多岐にわたっており、ニーズもさまざまな中、なかよしの先生方は十分対応されている。自身はまだ知識も経験も少なく、さらに理解を深めていく必要がある。 <p>☆学級になかよしの児童がいるのに関わらず、しっかり児童との関わりをもつ。 ☆なかよしの学習の入り込み、子どもとの直接のかかわり、子どもの実態を理解してもらえたことは、特別支援教育の理解につながった。 ・今年になかよしの支援に入ることも複数回あり、特別支援学級担任の大変さを改めて知ることができた。 ☆来年度高学年の空き時間の1コマをなかよし学級の授業の担当に入れ、児童理解につなげる。</p>

授 教 育	5 0. 支援員、学生ボランティア等を生かし、児童のニーズに応じて支援を行っている。	3. 4	・現在、支援員さんに入っていたく児童に誰も付いていないので2にした。人員不足が一番の原因なので、そこを解決しない限り難しい。 ・支援員さんの数を増やしてほしい ・支援員さん、学生ボランティアの方に多く支援していただき、困っている児童は救われています。 ☆支援員さんの募集を来年度も続けていく。
	5 1. 児童がなかよし学級について正しく理解できている。	2. 7	・特別支援学級をよく見に来てくださる先生とそうでない先生との温度差はとても感じる。 ☆なかよし学級の児童の活動を、みんなが体験する。
教 り キ 育 ア ヤ	5 2. 児童のキャリア発達につながる体験的な活動を計画し、実施	2. 6	・体験できる活動があればと思うが、実現はなかなか難しい。
保 健 指 導	5 3. 児童の健康課題の解決に向けた保健指導が、計画的に行われている。	3. 2	☆来年度も計画的に行っていく。
	5 4. 年間指導計画に基づいて性教育が行われている。	2. 9	☆運動会が1ヶ月遅くなったが、9月も練習に充てることがあった。来年度再度検討して計画を作る。
	5 5. 年間指導計画に基づいて食育指導が行われている。	3. 3	☆来年度も引き続き食育指導を進めていく。
	5 6. 食物アレルギー等を有する児童に対して、指導体制や救急体	3. 9	☆来年度も整えていく。
読 書 活 動	5 7. 朝読の活動が生かされている。	3. 4	・読書活動の記録、電子図書の活用 ・読書タイムなのにあちこちの教室からいろんな声や音楽が聞こえる。全校でし～んとした中でやらなければ意味がないと感じる。 ☆読書タイムの徹底。
	5 8. 図書館は有効に利用されている。	3. 5	・毎週のクラス配当の時間は、積極的に活用できているクラスが多いと思う。休み時間にも行きやすい図書館にした方がいいが、別館であり施設の問題もあり、15分間ではゆっくり読書ができる場所ではない。だれでもすぐに行くことができるよう、常駐できる司書がほしい！ ・本を読まずに遊びに来るだけだったり、入口前で遊んでいる児童をよく見かける。指導してもなかなか減らない。 ☆香芝市に1名司書教諭が配置される。
体 力 向 上	5 9. 体力の実態を分析し、課題を明確にしている。	3. 1	・体力テストをいかし、体育の授業が組み立てられなかった。学校全体で、学校の課題に取り組みたい。そのために体育部などから提案があればいいと思う。 ・体力テストの結果は確実に子どもたちに伝えてほしい。 ☆体育部の総括で出された課題をもとに、次年度、重要課題を提案し取り組んでいく。
	6 0. 運動の楽しさが味わえる学習が計画的に行われている。	3. 1	☆年間の計画を再考する。
	6 1. 体力づくりにつながる活動が進められている。	3. 1	☆授業時間の確保なども考えると現状がよいように感じる。
研 修 ・ 研 究	6 2. 研究教科の研究目標や研修計画を全教職員が共通理解している。	3. 4	☆理解できていると言える。
	6 3. 研修の成果を積み重ね、課題を明らかにし、日頃の教育実践に生かしている。	3. 2	・人員不足により時間的余裕がない。業務に追われる。 ・研究授業の廃止を提案したいです。指導案を作るのが大変すぎます。代替案として、授業を見合う環境づくりを提案したいです。 ☆互いに授業を気軽に見合える環境づくりを進める。 ☆研究授業は来年度も今年度と同じ回数設定する。
	6 4. 学年でまとまって教科研修を行い、成果を上げている。	2. 9	・学年会を行う時間的余裕がない。 ・正直そこまでの余裕がなく、最低限にとどまってしまった。 ☆終礼や会議の開始時刻を早めるなどして、放課後の時間を確保していく。
	6 5. 総合的な学習の時間において、テーマや課題設定が適切であった。	3. 1	・各学年の総合が現在どのように進んでいるか分かっていない ・各学年での軸となる活動があれば、いいと思う。 ☆学年のテーマなど全体の中で共有し、6年間の見通しをもって学校全体で取り組んでいかなければならない。